

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2
発達段階に応じた教育の振興

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

保健体育課長 佐藤 正範

電話番号

0852-22-5722

事務事業の名称	体育・競技スポーツ大会支援事業	
目的	(1) 対象	中学生・高校生
	(2) 意図	中学校体育連盟、高等学校体育連盟が主催する事業の円滑な運営を図ることにより、中学生・高校生の大会への参加、活躍を促進する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校体育連盟、高等学校体育連盟が主催する大会等について運営費等を助成する。 ・学校体育大会支援事業（中体連・高体連が主催する県総合体育大会を円滑に運営させるための大会運営費の助成や、本県で行われる中国大会や全国大会等の大会運営費を助成することで、競技団体への経済的負担を軽減する） 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	県中学校総体、県高校総体への参加生徒の割合	目標値		31.0	31.0	31.0	31.0	%
	式・定義	中学生、高校生のうち県中学校総体・県高校総体に参加した者(国私立含)/全中学生・高校生数(国私立含)	取組目標値						
			実績値	30.0	30.5	29.6			
			達成率	-	98.4	95.5	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	32,721	44,471
うち一般財源(千円)	32,721	41,276

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- ・補助金を交付することで、大会運営が円滑に行われた。
- ・生徒や部員数の減少に伴い、中学校では平成15年度、高校では平成26年度より、複数校合同チームでの総体への参加を認め、参加生徒を確保する対策を行っている。
- ・県中学校総体の予選となる地区大会において、学校数の減少により地区大会を行わずに県大会への出場資格を得るチームもある。
- ・県中学校総体の予選を行う地区の枠組みを見直す提案があり、大会運営の負担を軽減し、県中学校総体の競技レベルを上げる方向に向かっている。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

- ・県中学校総体、県高校総体の大会運営については、各体育連盟の経済的負担を軽減することができ、円滑な大会運営ができた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- ・県中学校総体への参加選手が減少している。
- ・大会運営の役員が不足している。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・生徒数、学校数の減少がそのまま参加選手の減少につながっている。
- ・部活動顧問として指導経験のない教員が増加し、大会役員の不足につながっている。

③原因を解消するための「課題」

- ・運動部活動に参加する生徒を増やすことが大切であり、魅力ある部活動経営、中学校総体への参加方法の在り方等を検討する。
- ・指導経験や競技経験のない教員が、大会運営に協力できる体制づくりを進める。さらに役員として生徒が協力できる仕組みを考える。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・運動部活動の在り方を検討し、より参加・活動しやすい部活動の関わり方を探っていく。社会体育で活動している生徒が大会参加できる体制を整える。
- ・大会運営を行う人材を確保し運営を円滑にするために、部活動の第2顧問や第3顧問の教員に対して指導者研修会や審判講習会を開催し、競技への理解を深め役員参加できるようにする。また、生徒への講習を行い生徒役員を活用できるようにする。
- ・中学生、高校生の競技力向上や、教員の指導力向上のために、中学校体育連盟、高等学校体育連盟への運営支援を維持していく。